緑育出前事業　報告書

平成２２年５月２９日（土）３０日（日）　　「緑の大展示会」久留米市農協市場

（社）日本植木協会青年部会　九州ブロック

１、「緑の大展示会」における青年部の緑育事業

去る平成２２年５月２９日（土）、３０日（日）、福岡県久留米市農協市場にて開催されました「緑の大展示会」（主催（社）日本植木協会九州ブロック）において、青年部会九州ブロックの事業として緑育事業を行いました。「この木なんの木」「小庭園コンクール」という２つの緑育に絡んだ事業を考え、一般の方々を招いて行なった２日間を報告させて頂きます。

２、「この木なんの木」

まず２日間通して行なう事業として「この木なんの木」（樹木の名前当てクイズ）を行ないました。植物の名前や特徴をゲームにすることで覚えてもらい、より植物に興味を持ってもらうのが目的でした。対象は当日来場の一般客を中心に設定しました。また目標人数も２００人と設定しました。この設定人数には全く根拠がなく、この設定に後ほど悩まされるとは思ってもいませんでした･･･

大まかな内容は、あらかじめ場内１０箇所に樹木を置き番号を付けておく。場内のマップを作り、解答用紙とバインダーとペンを用意する。入口付近に受付を設け当日来場の一般客中心に参加を呼びかける。出口にて解答用紙を受け取り、解答用紙と景品、また緑育事業のパンフレットを渡す。

こうして「この木なんの木」はスタートしました。

（ポスターを貼り、受付準備）

（樹木に番号をつけて並べる）

（問題を解く参加者）

私たちは普段なかなか一般の方々に声を掛ける機会も少なく、初日は非常に苦戦しました。２日間で２００人にクイズを解いてもらうという目標でしたが、初日は終ってみれば５７人の参加でした。翌日は時間も短いこともあり、早くも２００人という目標が遠のいた気がしていました。しかし初日で若干声掛けに慣れてきた青年部の面々は、翌日私の予想以上の頑張りを見せたのでありました。

（一生懸命参加を促す）

また単に問題を解いてもらうのではなく、分からない方がいたら積極的に声を掛け、少しでも植木の説明をするように心がけました。

（植木の説明をする）

そして初日に５７人しか参加を集められませんでしたが、２日目は全員の頑張りでなんと１４３人の参加。合計でジャスト２００人という当初の目標を達成できたのでした。本当に２日目は沢山の方に参加して貰い、植木に触れ合えた良い機会になったと感じられました。また参加者の内訳は次のようになりました。

「この木なんの木」参加者内訳　　参加人数　２００名

性別　　男性　１０７名　　女性　９３名

年齢

10 歳以下	20 名
10 歳～19 歳	14 名
20 歳～29 歳	27 名
30 歳～39 歳	39 名
40 歳～49 歳	30 名
50 歳～59 歳	33 名
60 歳～69 歳	28 名
70 歳以上	9 名

職業別

植木生産関係	23 名
造園関係	21 名
会社員	29 名
公務員	3 名
農業関係	12 名
自営業	6 名
その他職業	9 名
主婦	36 名
幼稚園以下	7 名
小学校	23 名
学生	3 名
不明・なし	28 名

以上のように小さい子供から７０歳以上の方まで幅広く参加していただけました。職業も植木・造園関係に限らず様々で、特に主婦の方には快く参加していただけました。植木の町久留米市ということもあってか参加者は植木に非常に興味を持っており、詳しい方も多かったようでした。普段小学校ですることの多い「この木なんの木」でしたが、大人も割と真剣になれることも感じました。問題点はいくつかありましたが、今後も緑育事業としてやっていけることを確信しました。

３、「小庭園コンクール」

今回の緑育事業の中で準備に時間をかけ、特に力を入れていた事業でした。私たちが今まで経験のない一般の家族、子供たちを募集参加させるということで非常に神経を使いました。

「小庭園コンクール」の目的は、小さな庭作りを通してじかに植物や土に触れる体験をしてもらうことで、子供たちの豊かな心を育み、未来につながる良い経験にするというものでした。対象は事前募集の小学生を含む親子チーム２０組でした。

大まかな内容は子供を含む１グループ３名～５名で編成の２０グループで小庭園を作ってもらう。植栽マスは 1.2m×1.2mの木枠を 20 個、屋根付きの所に準備する。参加者は事前に集めた植物を自分たちで集め使ってもらう。その際植物にポイントをつけ１グループ１００ポイントを越えないようにする。製作後に来賓、本協会役員の方に審査していただき表彰をする。また使用した資材は希望があれば、2 日目の片付け時に持ち帰りも出来るというルールにしました。

この事業は事前準備から大変でした。特に参加者を募る方法などは何度も検討しました。参加募集のビラを作る時はできるだけ一般ウケしそうな文書を考え、その際「小庭園コンクール」では堅い感じがしたので「小さなお庭づくり」という言葉で募集しました。また配布場所も人が集まるようなところを探し配布しました。これは地元福岡県支部青年部の方にかなりの負担をしていただきました。その甲斐もあり２０組の参加募集は意外にも早く集まりました。このような企画に興味をもたれる親子は多いという証明でした。後のアンケートで分かりましたが、単純にガーデニング好きの親子が参加しただけではないようでした。

事前準備が整った後、当日の役割を検討しました。一般の参加者を入れるのですから事故、問題の起きないこと、参加者に楽しい思い出が作れることに重点を置きました。そして参加２０組全てに青年部を担当として１人ずつ配置しました。今回は青年部ほとんど全員に仕事を与え当日を迎えました。

（植栽マス　一輪車等準備）

（使用する植物）

使用する植物は事前に福岡県支部を中心に材検を行い集めました。参加者の好みや使用料は予測が付かず、多めに準備したつもりでした。また植木だけでは華やかさが足りない気がしたので急遽花苗も購入しました。

準備が整った後、参加者を受付けしました。２組ほど時間ぎりぎりだったので心配しました。予想以上に参加者が集まると大きな団体になり、緊張しながら今回の企画の説明をしました。当日は晴天ということもあり、参加者はなるべく日かげに行くことを心掛けました。

（全体説明）

そしてあらかじめグループの場所決めをした植栽マスに、参加者を促し一人ずつ青年部の担当の自己紹介を行ないました。失礼のないように心掛けました。

（各グループの担当者）

一通り説明が終るとスタートしました。あわてて走らないように注意したにもかかわらず、一斉に植物のほうへ走りました。やはり皆さん使いたい植物を取りたいようでした。

（植物調達中）

植物を争うように（笑）集めたら早速小庭園作りが始まりました。どんどん穴を掘る人、植物を置いて考える人、なかなか動き出さない人、色々な人がいましたが皆さん真剣そのものでした。

（作業風景）

当初時間設定は２時間としていましたが、少し長いようなので作業の進み具合によって短縮するつもりでした。しかし早く進むグループと何度もやり直したり、なかなか進まないグループもあり難しい状況でした。終盤全員が終りそうなのを見計らって３０分短縮し、９０分で作業を終了しました。長いようで短かった９０分間は誰一人飽きている様子もなく、皆さん沢山汗をかいて頑張っていました。子供達は砂をさわると集中するのか、ずっと砂遊びをしている子もいました。むしろ大人の方が真剣になっている方もいました。

終了後すぐに審査に移りました。今回は久留米市市長様、久留米市議会議長様、植木協会会長様、九州ブロック長様、福岡県支部長様のご協力を頂き、５つの賞を用意していました。

（審査風景）

そして表彰式に移り各賞を発表しました。審査員曰く非常に甲乙付け難かったようです。

（表彰式）

（表彰式）

こうして「小庭園コンクール」は終了しました。予想以上にレベルの高い作品ばかりでした。

（作品）

（作品）

（作品）

（作品）

翌日に希望者のみ材料を持ち帰れるようにしていたのですが、なんと全員が持ち帰りました。今回の事業で少しでも植物が好きになってくれたようで非常にうれしかったです。また作業後にアンケートをとったのですが、「楽しかった」「また参加したい」という声が大多数でした。

「小さなお庭作り」参加者　アンケート　集計結果

♦今回「小さなお庭作り」に参加してどうでしたか？

・とっても楽しかった　・楽しかった　・普通　・楽しくなかった

20 組

♦「緑の大展示会」の印象はどうでしたか？

・とっても良かった　・良かった　・あまり見てない　・悪かった

16 組　　4 組

◆「小さなお庭作り」の良かった点を教えてください。

・簡単そうに見えて実際やってみるとバランスを考えるのが難しく、子供たちと

相談しながら出来たので良かったです。

・家族で楽しめること

・ふれあいが出来て良かったです。

・普段ふれあえない土や植物にふれ楽しめました

・自分達好みの庭づくりができよかった。親子で楽しむことができました。

・子供たちも一緒に協力して作り上げることができたこと。

・たくさんの緑に触れられたこと。ガーデニングの楽しさを親子で味わえた。

・植物についても色々説明頂き、勉強になりました。庭作りも楽しかったです。

日かげでの作業もありがたかったです。

・子どもは自由に花を植えられて楽しかったようです。大人も色々な花、木の種類に

触れて楽しかったです。

・色々な植物を学べた。木がもらえる。

・親子で楽しい時間がすごせました。

・普段あまりできることではなかったのでアドバイスをいただきながら、

いろいろな組合せをすることができ難しさを感じつつも楽しかった。

・アドバイスをいただきながら自由につくらせてもらうことができて

とても楽しく過ごせました。

・子供と一緒に植え込みができて楽しかったです。

・家に庭がなくコンクリートなので子供に土いじりをさせたいと思って参加しました。

とっても楽しそうにしてたので良かったです。担当の人が親切でした。

・皆で協力して楽しかったです。

・数多い種類の中でいろいろ選んで植えたのが子供たちと協力して

出来上がりがとても良く出来たと思う。

・色々な木、花を使って自由に植える事ができ頭の体操になりました。また家族で

一つの物を作る楽しさができました。担当の方も良くして頂きお世話になりました。

・子供達が草木をさわる良い機会となりました。

・チームで協力し合って良い庭を作れたこと。

◆「小さなお庭作り」の悪かった点を教えてください。

・特になし （9 組）

・花がもっとほしい　・花が少なかったのがちょっと残念。

・もっと花の数、木の数が欲しかったです。欲しいのがすぐなくなりました。

・大人の方が夢中になりました。

・一輪車が足りなかった。

・特に感じることはありませんでした。日陰だったので安心しました。

・テーマがあれば作りやすかったかも？！

・十分です。

◆「緑育出前事業」は、普段は学校単位で募集しております。「この木なんの木」、

「みどりの大切さ、働く意義、自然のめぐみ」

「みどり・樹木の役割」、

「光合成・森の仕組み、地球温暖化、植木のビンゴ」等受講者年代、地域等により

様々な内容を用意しております。このような授業を　受けてみたいですか？

・是非受けたい　　・機会があれば受けたい　　・受けたくない

5 組　　15 組

◆このような事業が有ることを　学校や PTA に　教えてあげたいと思われましたか？

・是非教えたい　　・教えたい　　・教えたくない

11 組　　8 組

◆なにか感想があれば教えてください。

・とても楽しかったです。ありがとうございました。

・花の名前がわかるように表示してもらいたい（名前の勉強のため）

・楽しい一日でした　　・とても楽しかった。

・今日はありがとうございました

・楽しかったです。ありがとうございました。

・楽しく参加できました。来年も開催されればぜひ参加したい。

・おまつり感もあり、楽しいイベントでよかったです。

・またやりたい。

・また参加したいです。

・楽しかった。子供のためにと思ったけど親がメインで。

もっとイメージしてくればよかった。

・緑の大切さ、楽しさに触れる機会が得られたらと普段の生活の中で感じました。

・また次回があるなら子供達は参加したいそうです！！ありがとうございました。

・是非また参加したいです。種類も沢山あってうれしかったです。

・欲しい植木ばかりに集中していざ植えるとなると難しかったです。でも

とても楽しい体験となりました。

（以上　参加者アンケート集計）

４、今回の収穫と今後の課題

今回の緑育事業は反省点もありますが、大筋成功であったと確信しています。また私たち植木協会青年部会の今後の課題、ヒントも多く在りました。

まず子供を含め沢山の人が土や植物に触れる機会を求めていること。それに対して私たちはもっと緑育活動に力を入れていくべきであるということ。また植木屋の活動にとらわれずに沢山の人と接し、その中でまだまだ対人マナーを磨く必要があるということ。今回はたまたま問題が起きなかったが危険性は多かったと感じる。そして植物の知識をもっと学び、一般の人にも伝えること。そして植木業界全体の活性化につながるように働くこと。

私たちの植木に係わる仕事は必ず世の中で必要なものだと確信しています。今回の経験を生かし、（社）植木協会青年部会九州ブロックは失敗を恐れず、もっともっと活動の幅を広げて行きたいと思います。